

「中国と欧州における排出量取引－炭素市場に係る強力な事例」

傍聴報告

2016年3月28日

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

本傍聴報告は、2015年11月30日～12月13日にフランス・パリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）・京都議定書第11回（CMP11）締約国会合において開催されたサイドイベントの傍聴報告です。

- タイトル：中国と欧州における排出量取引－炭素市場に係る強力な事例（“Emission Trading in China and the EU: A strong case for carbon markets”）
- 日時：2015年12月5日（土）10:30 - 12:00
- 主催：欧州委員会（EC）、中国国家発展改革委員会（NDRC）
- 会場：欧州連合（EU）パビリオン（ル・ブルジェ会議場）
- プレゼンター（敬称略）：Miguel Arias Canete（EU 気候行動・エネルギー担当委員）、解振華（中国気候変動問題特別代表）、Jos Delbeke（EC 気候行動局長）、Jiang Zhaoli（NDRC 気候変動部門当局者）、Duan Maosheng（清華大学教授）、Pascal Dupuis（フランス代表気候エネルギー効率部長）
- モデレーター（敬称略）：Dirk Forrister（国際排出量取引協会：IETA 会長）

■ 概要

- 欧州排出量取引制度（EU-ETS）は設立から10年を迎えた。EU はこれまでの教訓を生かし、昨年より、中国における ETS 能力構築を支援している。中国は国家 ETS の立ち上げを宣言し、炭素市場の取組が加速化している。EU と中国における炭素市場の構築について、EC、NDRC、清華大学等から構成されるパネリストにより議論がなされた。

■ 発表内容（敬称略）

1. Miguel Arias Canete（EU 気候行動・エネルギー担当委員）：

- 欧州排出量取引制度（EU-ETS）は2015年で10周年を迎える。この記念すべき年に中国が国家 ETS 立ち上げを宣言したことは非常に喜ばしい。温室効果ガス（GHG）削減と炭素価格付けに係る主要な政策として、欧州と中国は炭素市場を擁護する。
- 欧州にとって EU-ETS は貴重な収入源でもある。EU-ETS は欧州の GHG 排出量の半分以上をカバーしている。
- 2014年より EU は、中国が ETS 導入にあたり必要な能力を構築する支援をしている。2015年6月に開催された EU 中国サミットでは、炭素市場に係る二国間（bilateral）協力の強化をうたう共同声明を発出した。二国間協力を進めていくことが重要である。

2. 解振華（中国気候変動問題特別代表）：

- 中国が掲げる GHG 排出削減目標は力強く前向きであり、今が行動を起こす時である。中国の約束草案は、省エネルギー、再生可能エネルギー、森林吸収源に係る規制を含む。経済成長と GHG 排出削減をデカップリングさせたい。EU からは学ぶことが多い。
- 2015 年 9 月、中国首相により、試行 ETS の経験をもとに国家 ETS を立ち上げることが宣言された。これまでのところ、価格は極めて安定している。
- 韓国首相は、中国市場と連結させる意思があるとのこと。

■ パネルディスカッション及び質疑応答（敬称略）

3. Jos Delbeke（EC 気候行動局長）：

- EU-ETS から学んだ重要な教訓として、①排出枠の割当量が過剰であったこと、②各国は共通の徹底したセキュリティ規制で登録簿の安全を保障し、取引の信頼性を保つこと、③クレジットの価値を損なわないためには堅牢な測定・報告・検証（MRV）システムが必要であること、が挙げられる。これらを共有し、深めたい。

4. Jiang Zhaoli（NDRC 気候変動部門当局者）：

- 取引費用を削減することが重要である。排出枠を上手に割り当て、完全性を目指したい。中国の目標値は国際的な目標よりも高くあるべきである。

5. Duan Maosheng（清華大学教授）：

- ETS により達成する目標及び野望は、政治的なものである。ETS により達成する野望とは、その国における固有の問題を解決するものでなくてはならない。
- 柔軟性の高い制度設計にすることが大事であり、キャップを柔軟に設定できる余地を残したい。EU-ETS では過去の排出量に基づきキャップを設定しているが、我々は工場の省エネを進めたいため、将来の排出量を見込んでキャップを設定したい。

6. Pascal Dupuis（フランス代表気候エネルギー効率部長）：

- フランス企業は EU-ETS だけでなく、多くのベンチャー企業が中国 ETS でも活発に活動している。
- EU-ETS 参加国は 41 か国あるが、GDP あたりのエネルギー効率で 20 ランクに分け、調和がとれるよう運用している。中国国内においても経済成長が追い付いていない地域については、同様の対応が有用であろう。
- EU-ETS では価格問題が悩ましい。価格を固定する手法を探さなくてはならない。
- 中国は EU-ETS とは異なる ETS を設計しており、EU が中国から学ぶことも多いだろう。中国との共同研究は我々にとって非常に重要である。

Q. Dirk Forrister (IETA 会長) :

- このようなサイドイベントで重要なことは、ビジネス・コミュニティへシグナルを送ることである。我々はパリからどのようなシグナルを発信できるだろうか。

A. Jos Delbeke (EC 気候行動局長) :

- 多くの約束草案において市場メカニズムの活用が言及されており、これは最も強力なシグナルである。パリにおいて、約束草案の確実な実施を促し、市場メカニズムを活用する余地が残された決定が合意されることを望む。
- ETS では産業界を対象にすることが重要であり、電力部門も重要なプレイヤーである。

A. Jiang Zhaoli (NDRC 気候変動部門当局者) :

- 中国の約束草案においても、補足的な手法として炭素市場に言及されている。炭素市場の持つ役割は大きい。

Q. (不明) :

- 中国、EU、韓国 ETS において、排出枠を産業界へ無償で割り当て、競争力を担保しようとしている。無償割当について、長期的にはどのように対処する予定か。

A. Jos Delbeke (EC 気候行動局長) :

- 無用な論争を避けるために、無償割当する際は透明性を確保する必要がある。EU は技術的なベンチマークに基づき無償割当を実施している。

Q. (不明) :

- キャップを設定する際に経済成長や排出原単位を誤算出してしまうと、排出枠が過剰になる。中国は原単位目標を設定しており、将来の経済成長予測が重要である。誤算出のリスクを回避する方策はあるか。

A. Jos Delbeke (EC 気候行動局長) :

- EU は総量目標を掲げているため問題ないが、原単位目標のように柔軟性のある目標の場合は不確実性が高いため、市場運営側からするとわかりにくい。現在のように分散型市場の世界では、市場のリンクを見据え、シンプルに設計することが重要である。

A. Jiang Zhaoli (NDRC 気候変動部門当局者) :

- 中国は長期的な目標を検討しなくてはならない。短期的に考えるべきではない。
- 優れた企業がリーダーになるべきである。市場にはまだ、CO₂ を排出しない活動を押しすすめる余地があり、長期的な国家政策を通じて達成されるべきである。

Q. (不明) :

- EU-ETS は独自のキャップを設定するのに苦労したが、中国はどのように対処するか。

A. Jiang Zhaoli (NDRC 気候変動部門当局者) :

- 中国はまず統計値から始めた。定期的に各省の目標を記録した。目標達成は公的資金に頼っている。異なる政策について正確に統計を取るシステムが重要である。
- 最初に排出枠を過剰に割り当ててしまうと、後から政府が介入して調整するのは難しい。よって、最初は排出枠を厳しめに割り当て、必要に応じて政府がリザーブする。

Q. Dirk Forrister (IETA 会長) :

- 中国と EU の ETS について、今後 10 年の展望は。
- 韓国と中国の市場がリンクする可能性は高いと思料するが、ETS の他地域への展開についてどう考えるか。

A. Duan Maosheng (清華大学教授) :

- 中国 ETS にとって、これからの 10 年が大事である。中国が ETS を実施しているという事実は、世界に対して強力なシグナルとなる。

A. Jiang Zhaoli (NDRC 気候変動部門当局者) :

- 炭素市場は順調に発展している。2017 年より 10,000 企業、10 億トンが対象となる。
- 中国、EU、東アジア市場のリンクの可否は、政策の立ち位置に左右されるだろう。

A. Jos Delbeke (EC 気候行動局長) :

- 今後 10 年で多くのプレイヤーが参入するだろう。

(報告者 : OECC 小柳 百合子)

サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

日本語版

http://www.mmechanisms.org/info/event/details_oecc_COP21report.html

英語版

http://www.mmechanisms.org/e/info/event/details_oecc_COP21report.html